

暮らしサポートセンター 守口ニュース

vol.24

2019年4月

発行：暮らしサポート
センター守口
〒570-0083
守口市京阪本通2丁目5-5
守口市役所7階

フリーダイヤル
0800-200-8011
TEL：06-6998-4510
FAX：06-6998-4512

新年度の
ご挨拶

社会的孤立者の 居場所づくりチャレンジ

主任相談員
西田 茂生

今年度は、『暮らしサポートセンター守口』が市役所に移転して2年目がスタートする年です。新しい年度は、経験豊富なパワーあふれるメンバーが新たに加わって業務をスタートしています。職員一同、きめ細やかな利用者支援を進めて参る決意をあらたにしています。

当センターは、複合的な困難を抱えた人々に、縦割りの制度をつないだ包括的な支援をおこし、『へんし』に不安を抱える市民の方を対象に、生活・就労支援、職業紹介、住居、債務の相談、食料支援、福祉など関係機関と連携した支援を実施しています。当事者の支援だけでなく、家族の相談や世帯まるごとに対応を強めることが大切ととらえています。

平成30年度は、守口市役所に移転し、市役所各課からの誘導や広報活動、関係機関の協力もあり、相談者数・件数は「543人、5365件」と相談者数、件数ともに昨年比20%増加しています。

内閣府が初めて調査した満40歳～満64歳を対象にしたひきこもり調査が発表されました。中高年の61万人超が広義のひきこもり状態であり、男性が75%を占めています。原因についても、「退職」「人間関係」「病気がひきこもり状態になったきっかけです。

本事業においても平成29年度から不登校・ひきこもりの子どもを心配する家族セミナーや家族会を開催し、ご家族の支援から当事者の支援とも繋がることができ、一定の成果を得るとともに、当事者の社会的なつながり、居場所等の必要性に直面してきました。本年は、社会的孤立者の居場所づくりにチャレンジする年です。

併せて、就労準備支援事業の職場体験先、仕事の受注、ふーどばんくの協力事業所の開拓、ごども食堂等の地域支援活動の協力や連携等を積極的に行いたいと考えています。

生活困窮や社会的孤立の芽をできるだけ早く発見し、支援に取り組めるよう今後とも守口市内のネットワークを広げ、広報活動の充実にも力を尽くす所存です。

みなさまのご協力をよろしく願います。

住居確保給付金とは

「住居確保給付金」は、離職後2年以内の、65歳未満の方で、住まい（賃貸）を喪失するか、喪失のおそれのある方に、就職の支援とともに3か月間の家賃助成（一定の要件により延長が可能）を支給するものです。離職等の日においてその属する世帯の生計を主として維持していたこと。ハローワークに求職の申し込みをし、誠実かつ熱心に常用就職を目指した求職活動を行うことなどの要件があります。

収入・資産要件など条件があります
詳しくは
暮らしサポートセンター守口まで

2018年度 フードバンクレポート

～もったいないをありがとう～



「まだ食べられるのに廃棄される食材」を「食品ロス」といいます。その解決策の一つとして「食べられる食材を必要な場所へ届ける活動」、「フードバンク」が挙げられています。

暮らしサポートセンター守口では、2015年よりフードバンクを開始し、2018年度は446件の寄付を頂き、372件の提供を実施することが出来ました。

しかし、提供する場所に対して、食材の寄付は集まっていないのが現状です。もし、ご家庭で使わない食品があれば、ぜひご協力お願いします。他にも在庫を抱えているという企業様もご協力いただけたらと思います。皆様も一緒に「もったいないをありがとう」に変える活動に参加しませんか？

▼民間、行政、市民様からの寄付



くらサポ・就労支援物語

一呼吸置いて力をためてから、再スタート！！



今回の「くらサポ・就労支援物語」は、精神科受診が必要だったAさんの「通院と相談で元気を回復するまで」です。「悲しく苦しかった気持ちをすべて受け入れてもらった」とがターニングポイントだったのかもしれない。

親を亡くした辛さから…

朝も夜も寝る間を惜しんで一生懸命に働いて、兄である私と弟の二人を高校まで卒業させてくれた、いつも頑張り屋の母親を約10年前、癌で亡くしました。親孝行もできなかった無念の気持ちや後悔の念から、精神的に辛い毎日をおくるばかりで、会社も休みがちになり病院で診断してもらったところ「自律神経失調症」という疾病が分かりました。



死にたいと思い詰めて。

加療をしながら仕事を続けましたが出勤が続く、給料も減るばかりで預金も底をつきました。これだけ苦しい思いをするくらいなら一層の事、この世の中から消えていなくなりたいという気持ちにかきたたれ、精神安定剤、睡眠薬を多量に服用して自殺を図りました。

幸いにも弟に助けられ命が救われました。それから弟の励ましもあって、長年続けてきた介護の仕事に何とか復帰しましたが、先の不安で睡眠もとれず、また出勤が続いたり、短期間で退職しては転職を繰り返していました。

相談して元気を回復！

そんな時、ふと広報守口の「くらしサポートセンター守口」の相談案内に目にとまり、思いきって電話をしました。予約をし、相談では私の支援担当者の方にこれまでの苦しい経過を話しました。精神科クリニックへの通院と併せて、1週間に1回のペースで「くらしサポートセンター守口」に通いました。支援担当者の方は、誠実に相談を受けて下さるだけでなく、私の悲しく苦しかった気持ちをすべて受け入れてくださいました。相談は私の能力や個性に配慮しながら約3ヶ月間続き、精神的なバランスを保つためにはどのような考え方をすべきなのか等、とても貴重なアドバイスをいただきました。気がつくとも病気の症状は少しずつ良くなりました。小さな希望が湧いてくるようになりました。それだけではなく、自立した日常生活を送って行くため、希望の仕事を一緒になって探して下さい、



企業面接の時には必要な応募書類の添削をして下さり、見事に1回で企業に就職が決まりました。

感謝の気持ち、頑張る毎日

支援相談員の方には感謝の気持ちでいっぱいです。

これから先は頑張る、自立した日常生活ができるようになっていきます。

相談をためらっている方は、是非とも勇気を振り絞って、「くらしサポートセンター守口」の支援相談員の方にご相談をしてみたいかがでしょうか？！

Aさんご協力ありがとうございました！くらサポ一同、Aさんの活躍をお祈りしています。

『守口市無料職業紹介所』

くらしサポートセンター守口併設

『周りにこんな方いませんか？』

- ①就職活動の進め方に迷っている方。
- ②どんな仕事に向いているのかわからないという方。
- ③頑張って応募してもなかなか仕事が決まらない方。

まずはご連絡下さい！



《メニューの一覧》

- ◆ハローワーク求人端末機による仕事検索
- ◆守口市内の求人情報誌、求人広告の情報提供
- ◆履歴書・職務経歴書の書き方
- ◆面接トレーニング（予約制）◆履歴書写真撮影
- ◆コミュニケーショントレーニング（予約制）
- ◆職業能力適性検査（予約制）
- ◆職場体験（必要に応じて）◆個別求人開拓（必要に応じて）

連絡先⇒0800-200-8011